



東京都立足立特別支援学校の職業実習報告

10月1、3、4、5、7、8、11、12日の8日間、東京都立足立特別支援学校の職業実習を受け入れいたしました。

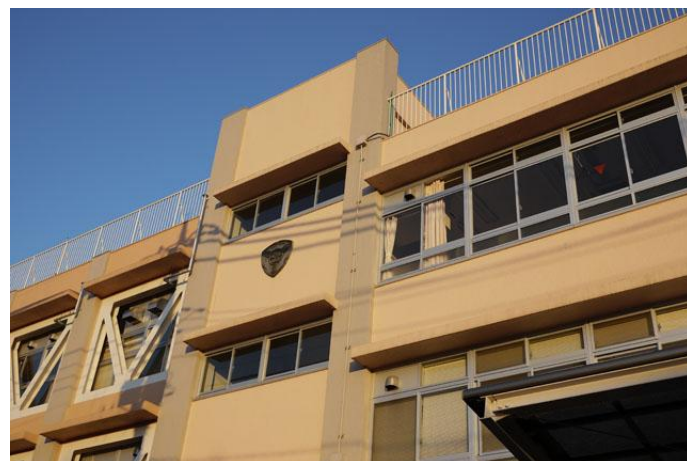
東京都立足立特別支援学校について

東京都立足立特別支援学校は昭和49年4月1日に東京都立王子養護学校足立分校として開校、昭和53年4月1日には東京都立足立養護学校として開校、平成20年4月1日には東京都立足立特別支援学校と校名を変更して現在に至ります。

学校の所在地は花畑で、埼玉県との県境の近くにあります。

普通科とその中に職業コースがあり、平成23年5月1日現在での在籍生徒数は普通科181名、職業コース48名、合計229名です。

平成22年度の卒業生は69名で、進路先で企業へ就労された方は30名、率で表すと43%になります。この企業就労率はここ数年、50%前後となっております。



図書館での職業実習について

足立特別支援学校では、卒業後の働くことを含めた自立を目指し、一人の社会人として豊かに生きる力を身に付けるために教育課程を編成しています。

校外での現場実習（インターンシップ）は、生徒が実際の業務体験を通して、自分の適性や働くことなどについて学ぶ機会として特に重視しています。

実習先の一つとして、図書館での勤務実績もあります。普通科職業コース生徒が、複数の私立大学図書館に協力いただき年数回実施しています。

携わった業務内容は、今回行なってもらった盗難防止用の磁気テープ貼付はもとより、透明なフィルムカバーで本を包む「装備」という業務、書棚にある本の乱れを整えたり、番号通りに並べたりする「書架整理」というものです。

(進路指導主任 主任教諭 阿出川先生より)

館内での実習について

受け入れた生徒は高等部普通科2年の男子生徒です。

行ってもらった業務は本の中に盗難防止用の磁気テープを貼り付けです。

対象となる本は大型図書といって、大きさ平均30cm、大きいものは40cmにもなる非常に重量のある本です。

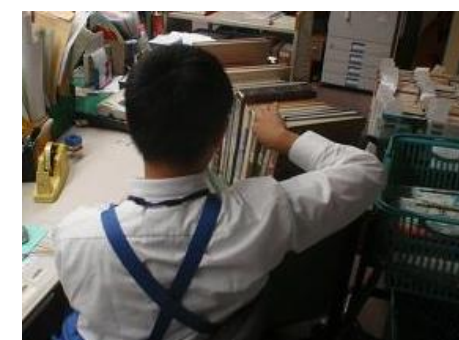
これを午前9時30分～午後5時まで行うのですから、心身に大きな負荷がかかることは想像に難くないと思います。

それでも彼は地道にコツコツと、ペースを乱すことなく毎日この業務をこなしてくれました。

初日にご同行された浅香先生のご助言を受けながら自分自身で創意工夫し改善していました。

また、あまり目立たないことですが、挨拶もきちっとしてスタッフも感心しきりでした。

彼の仕事量はもちろんのこと、仕事に対する姿勢、意欲といったものはとても素晴らしいものでした。これからの活躍を願ってやみません。また、紙面をお借りしましてすばらしい出会いをお与えくださった東京都立足立特別支援学校に改めて感謝申し上げます。中央本町地域学習センター、やよい図書館は貴校のますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、またこのような体験が双方できることを強く望んでおります。



男子生徒の感想

10月1日（土）から12日までの8日間の実習をやよい図書館でやらせてもらいました。

リストの本を探し、台車にのせて、パソコンで作業をし、とうなんぼうし用のシールをはりました。その後、パソコンでもうど作業をして、本棚に番号通りにならべました。くふうした点は、台車に本をのせるとき、パソコンでバーコードを読みやすくするために本を立ててのせました。むずかしかったことは、シールをはるときに本がとじてしまいたいへんでした。

学校の時間よりも長く、はじめはたいへんでしたが、さいごまでしっかりと作業ができてよかったです。

館長さんをはじめ多くの方にお世話になり、ありがとうございました。

担任の浅香先生の感想

本校では、進路学習の大きな柱として、2～3年生が、1・2学期に2～3週間の現場実習を実施しています。

面接や実習初日は、緊張した表情がとても印象的でした。日がたつにつれ、台車にのせる本の並べ方やシールを貼るために本をおさえる位置を工夫するなど自分で考えながら実習を行なうことができました。実習後の学校生活も意欲的に取り組み、実習の話しをクラスで報告するなど今回の実習が大きなワンステップになり、よい経験ができたと思います。

館長様をはじめ、多くの方にお世話になりました。ありがとうございました。